

由仁町

本田 裕崇

1. 由仁町の概要

1.1 町名の由来

アイヌ語「ユウンニ」（温泉のある所）から転化したものといわれる。1892 年 2 月 4 日、令第 5 号をもって由仁村設村の告示がされる。

1.2 町章

由仁町の「ユ」を図案化し、夕張連峰と馬追山系に抱かれた平和な町を意味し、清新な気風と力をもって豊かに躍進する姿を象徴している。北海道百年を記念して町章図案を一般公募する。その後、町章設定審査委員会で審査、町議会で決定された。1968 年 1 月 1 日に制定される。

図 1 町章



出典:由仁町 HP

1.3 町花と町木

町花「菊」

日本古来から観賞用として栽培され、夏菊から秋菊に至るまで開花期は最も長く、秋の露にたわむる野菊のやさしい姿や、りんとして秋の霜にもめげない気高い姿は、町民の好みにもなっている。管理が容易なため古くから栽培され、菊花展などで広く親しまれており、“香り高い文化の町づくり”の花としてふさわしいことから、町の花、町の木選定委員会で選定される。制定は1982年6月15日である。

図2 町花「菊」



出典:由仁町HP

町木「イチイ」

寒冷地に生える常緑針葉樹で北海道では別名オンコと呼ばれている。町内では古くから馬追山を中心に自生し、その大木はまさに樹木の王者としての気品と風格を保つ。庭園の要木、盆栽として親しまれ、材質は緻密で狂いが少ないことから、高級建築材、彫刻材として日常生活の中に広く利用されている。厳しい北海道の風雪に耐え、一年中緑の景観を保ち、町民の心にやすらぎとうるおいを与えてくれることから、

図3 町木「イチイ」



出典:由仁町HP

町の花、町の木選定委員会で選定される。制定は1982年6月15日である。

1.4 地勢・気象

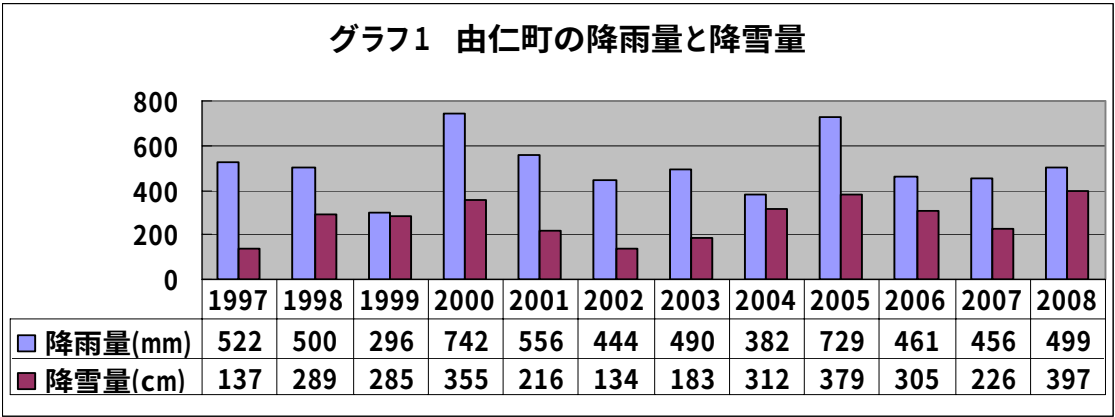
由仁町は、東経141度45分14秒～142度02分35秒、北緯42度50分20秒～43度03分15秒に位置し、東・北は夕張川で夕張市、栗山町と、南は千歳市、安平町、厚真町に、また西は長沼町に接している。面積は133.86平方キロメートルで、東西に8キロメートル、南北に32キロメートルと細長い。東部は、平坦で面積の3分の1を占め、西部・南部は、馬追丘陵に続いて傾斜は緩やかである。南東部は、夕張山系に属し森林地帯である。また、最高標高は506.6メートルで、最低標高は24.7メートルである。

図4 由仁町の所在地



出典:由仁町HP

2008年の空知の主要市町村の降雨量は、美瑛市が886mm、岩見沢市が915mm、滝川市が839.5mm、深川市が732mmである。このことから由仁町は、空知の中で降雨量が少ないのがわかる。また、同年の降雪量は、美瑛市が743cm、岩見沢市が620cm、滝川市が666cm、深川市が726cmである。このことから由仁町が、空知の中で降雪量も少ないことがわかる。



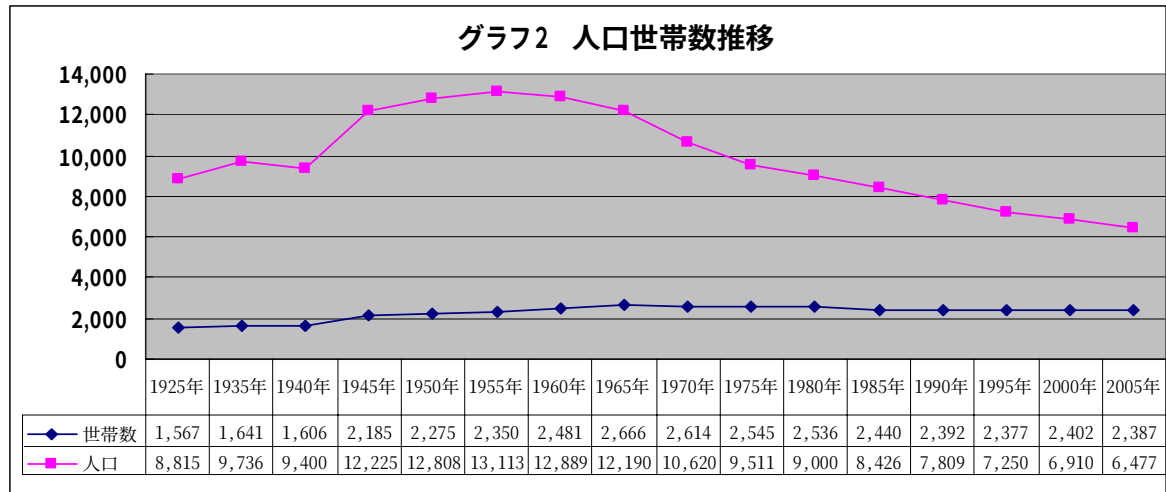
出典:由仁町HP

2. 人口と世帯数

由仁町の人口は、1965年の2666人がピーク。それ以降は現在人口減少の一途をたどっている。2010年6月1日現在の人口は6101人で、男性2908人、女性3193人である。世帯数は

2528世帯である。

グラフを見ると、世帯数は増加しているが人口が減少していることがわかる。このことから、若者（子ども）が他の地域へ移り住み、親は由仁に残るのではないかと推測できる。

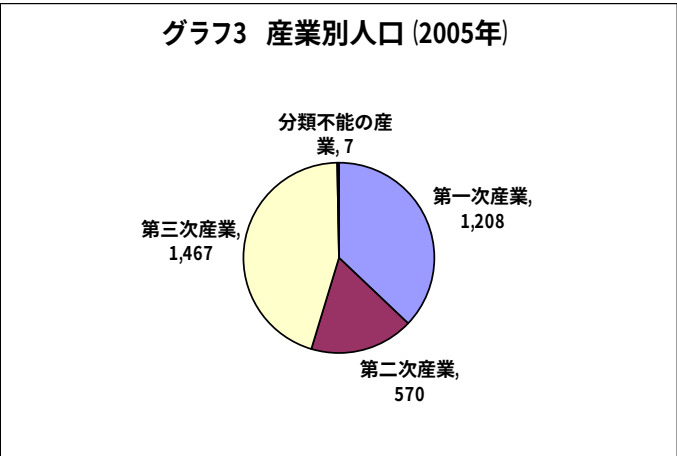


出典:由仁町HP

3. 産業

3.1 産業別人口

第一次産業は、農業がほとんどである。第二次産業は、建設業と製造業が中心である。第三次産業は、サービス業が最も多く、卸売・小売業が次に多い。

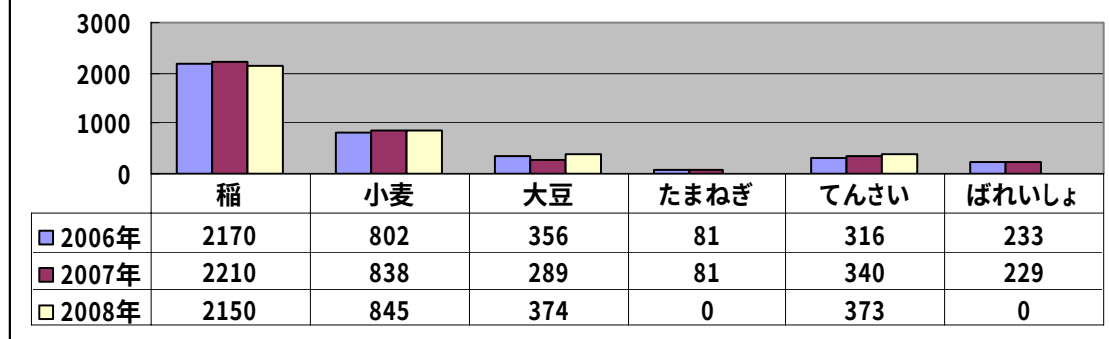


出典:由仁町HP

3.2 農業

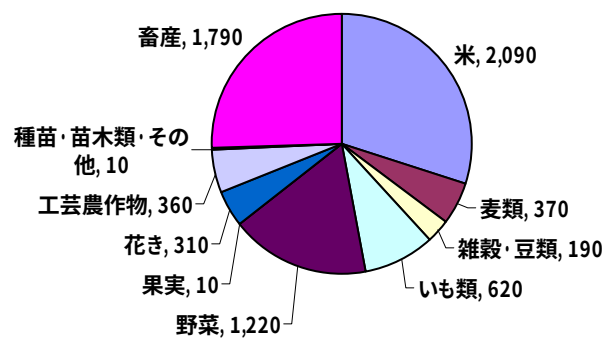
由仁の基幹産業は農業で、最近はハーブなどの観光資源にも力を入れている。主要農作物は、稲、小麦、大豆、てんさいである。作付面積（2008年度）は、稲が2150ヘクタールで最も多く、小麦は845ヘクタールで次に多い。てんさいは373ヘクタールである。収穫量（2008年度）は、てんさいが26400トンで最も多く、稲は11100トンで次に多い。小麦は3300トンである。

グラフ4 主要農作物作付面積(ha)



出典：由仁町HP

グラフ5 2006年度農業産出額(百万円)



出典：由仁町HP

図5 しいたけ



出典:由仁町HP

図6 食用ほおずき



出典:由仁町HP

3.3 特産品（農産物）

由仁町の特産品（農産物）には、しいたけ、食用ほおずき、由仁の花、米、ハーブ関連商品、ジュースなどがある。

しいたけは、町内の水稻専業農家13戸が、高収益作物としてナラ原木による、しいたけの生産に取り組んでいる。消費者から肉厚でおいしいと好評である。STVどさんこワイドでおなじみの星澤先生も絶賛とのこと。札幌市のある店で売られているらしいので、見かけたらぜひ一度お試しあれ。

食用ほおずきは、1995年に町の新しい作物として、「食用ほおずき」の生産に取り組む「由仁町食用ほおずき生産組合」が組合員数3戸で設立された。「多孔質セラミック設備」という道内初の設備を導入して生産に取り組んでおり、札幌のお菓子屋や東京の市場で販売され、好評を得ている。今年からは「ホオズキゼリー」も販売され、テレビでも紹介された。食用ほおずきは、道内でも初の取り組みであることから注目を集めている。

由仁の花は、色の鮮やかさと日持ちの良さで、特に本州で人気があり、千葉県柏市から感謝状をいただいたこともある。カスミ草、トルコギキョウなどの切花が中心で、現在の売り上げは二億五千万円を越えている。

米は、水稻生産者の半数が、農薬の散布量を慣行の半分以下に抑えた、高品質・良食味米に取り組んでおり、生産された米は「薫風浪漫米」として販売されている。また、2000年に秋田県大潟村で開催された「おいしい米づくり日本一大会」の減農薬部門で優秀賞を受賞している。

ハーブ関連商品は、町内の女性が中心になって結成した「ゆにハーブの会」の商品である。ゆにハーブの会では、ハーブを使ったシューズキーパーや押花コースターといった手作りグッズを製作・販売している。

ジュースは、由仁町果樹組合の100%リンゴジュースが好評で、このジュースは品種ごとにしぼっている。「つがる」や「ハックナイン」といった品種が7種類あり、それぞれ違った味が楽しめる。また、町内産トマトを使った100%トマトジュースもある。由仁町では、りんご狩りやぶどう狩りもでき、さらにりんごの木のオーナー制もやっている。

図7 由仁の花



出典:由仁町HP

図8 米



出典:由仁町HP

図9 ジュース

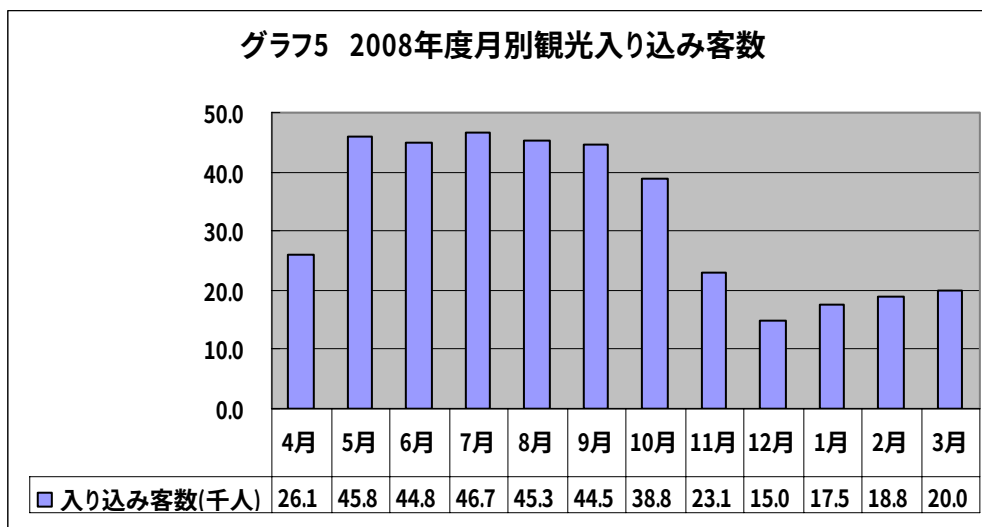


出典:由仁町HP

4. 観光

4.1 観光入り込み客数

由仁町の観光入り込み客数は、5月から10月にかけての夏場に多い。これは、由仁ガーデンの開園期間が、夏場であることが原因であると思われる。また、夏に多くのイベントを行い、冬場にはあまりイベントがないことが、関係しているのではないかと思う。



出典:由仁町HP

4.2 ユンニの湯

ユンニの湯は、丘の上の森の中にある。建物は環境に溶け込んだ大きなログハウスになっている。1993年オープンの比較的新しい温泉である。経営は少し離れたゴルフクラブが行



図10 大浴場

出典:じゃらんHP



図11 露天風呂

出典:じゃらんHP

っている。明るく清潔な雰囲気、フローリングの床には暖房が入っている。浴室には、サウナ、打たせ湯、寝湯、ジャグジー、水風呂がある。露天風呂も男女別にある。女性用は屋根付きである。また、ユンニの湯の最大の特徴のお湯について。泉質はナトリウム炭酸水素塩・塩化物泉（アルカリ性低張性冷鉱泉）である。炭酸水素イオンが多く含まれぬめりがあり、肌がすべすべになることから、俗に「美人の湯（美肌の湯）」といわれている。地下1300メートルから湧き出る温泉はコーヒー色をしている。泥炭地帯に位置しており、地下水が数千年前に堆積した石灰層に浸透してこの色がうまれているとか…太古の浪漫を肌感じてみて欲しい。

4.3 ゆにガーデン

ゆにガーデンは、国内最大級を誇る英国風庭園で、四季によって表情を変える13もの庭園、広場、花々が来場する人々を迎えてくれる。ハーブを使用した料理を食べることができるレストラン、カフェもあり、ハーブ教室では押し花なども体験することができる。また、結婚式場としてハーブの香りに包まれてウェディングを行うこともできる。

図12 ゆにガーデン



出典:みるくる北海道タウンHP

4.4 ゆめっく館

ゆめっく館は、図書館と資料館が併設された施設である。1990年に由仁町東三川で、今から5～6万年前のマンモスの臼歯とオオツノシカの角の化石が発見された。鑑定の結果、日本で発見された物の中で最も古いことが判明した。ロビーには、マンモスとオオツノシカの実物大模型があり、郷土資料室には、そのマンモスの臼歯やオオツノシカの角の化石のレプリカ、開拓当時の農機具や調度品などが展示されている。

図13 ゆめっく館



出典:じゃらんHP

参考HP

由仁町HP: <http://www.town.yuni.lg.jp/>

じゃらんHP: <http://www.jalan.net/>

みるくる北海道タウンHP: <http://www.dotown.jp/>

気象庁HP: <http://www.jma.go.jp/>